

打合議事録		作成日	2019年12月5日(木)
		作成者	東海電子 高木
開催内容	アルコール検知器協議会 第四回技術委員会		
開催日時	2019年12月3日(火) 14:00~15:30 (@CIVI 研修センター新大阪東)		
出席者	議事進行: 畑技術委員長 出席者: 技術委員会員、業務委員会員		
議論内容	<p>1) 今年度の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 予算は12月現在使用なし。 <ul style="list-style-type: none"> ・ガスWGにてエタノール標準ガス購入予定(30万円で有効期限3か月) ・規格WGにて規格文書購入等の可能性あり <p>2) 外部検定運用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 12月現在: 6社21機種(2019年度: 7社25機種予定) ● 業務委員会のみ参加の企業様へ外部検定のルールが伝わっていなかったため再説明。 ● 外部検定運用の質問事項 <ul style="list-style-type: none"> ・"購入後の使用回数と期間について説明しているか"が不明確 ⇒文言をそのまま取扱説明書に加えることは、すぐには難しいが、維持審査の際までに変更することは可能であると思われる。 ⇒回数を記載することで、ユーザーへの説明責任を果たすようにすることをCERI様に伝える。 ・保管の温湿度に関する記載がない。 ⇒メーカー側としては、±XX%RH等が伝わるが、ユーザーは"結露しないこと"の方が伝わりやすいので、両方記載がよいのではないか。 ⇒今回はJB10規格であるので目をつむっていただくようCERI様へ伝える。 ⇒取扱説明書については各社維持審査までに変更を行う。 ・干渉ガスのゼロガス測定 ⇒原理が半導体式の測定器については、微量のエタノールを加えたシミュレーターに干渉ガスを通気する条件下で試験を行う。 ⇒各社問題なし。 ● 仕様変更の運用について <ul style="list-style-type: none"> ・変更仕様書がHPにないのでフォーマットを作成する。 ・提出先は外部検定申請同様、技術委員長とする。 ・技術委員長は、検定審査会の担当企業に申請企業の仕様変更に関する文書を送付し、仕様変更の内容レベルを審議する(軽微か否か) ・HPに仕様変更の履歴を残し、仕様変更が軽微か否かの指標とする。 <p>3) WGの報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ガスWG <ul style="list-style-type: none"> ・参加企業を募集したところ、タニタ(望月、笠原、池田、金成)、東海電子(杉本、高木、ブライアン)、NISSHAエアアイス(常深、柳谷)、フィガロ技研(川畑、河口)、ヤナコ計測(上西(リーダー))、光明(畑)(敬称略)がメンバーとなる。 ・トレーサビリティ用として検討していたエタノール標準ガスの価格と有効期限(約30万円、3か月)より、使用について検討が必要。 ・規格WGおよび義歯安定剤WGで時間を要し、現在活動中断中。 ● 規格WG 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・参加企業を募集したところ、タニタ（望月、笠原、池田、金成）、東海電子（杉本、吉田、高木、ブライアン）、NISSHAエアアイエス（常深、柳谷）、フィガロ技研（川畑、河口）、ヤナコ計測（上西）、光明（畑（リーダー））（敬称略）がメンバーとなる。 ・10月中旬にJ-BAC草案を提出 ⇒宮地先生（東海大学）より、Road Safetyのみでなく、昨今の航空事業における安全についても入れるべき。EN15964,EN16280の両立を1つに絞るのはScopeが変わるため難しい、どちらかに絞りたい。 ⇒J-BACの考えと同様である。 ・J-BACとしてISO = JB20として進行する。 ISO規格化することで、海外において“ISO規格を満たす機器”として海外での受け入れがしやすくなるメリットがある。 ・今後の活動として、各国のExpertと連絡をとり、2020年秋までに正式な文書を提案できるようにする。 ・4月の国際会議で進展があれば、情報展開する。 ● 義歯安定剤WG <ul style="list-style-type: none"> ・参加企業を募集したところ、NISSHAエアアイエス（常深、柳谷）、フィガロ技研（川畑、河口（リーダー））、中央自動車工業（高橋）、光明（畑）（敬称略）がメンバーとなる。 ・11月22日に第一回WGを開催。 ・2019年4月小林製薬様実施のトライアルに対する精査。 ・貸出機候補選定（半導体式：中央自動車、燃料電池式：フィガロ技研またはタニタ、参考として赤外線式：ヤナコ計測） ・鼻気通気用の治具等の検討 4) J-BACに寄せられた問い合わせ <ul style="list-style-type: none"> ● アルコール検知器の精度は±0.03mg/Lが許容され、0.05mg/L未満が0.00mg/Lとマスキングされる規格となっていますが、計測の結果0.04mg/Lと表示され0.00mg/Lとマスキングされる場合、前述の誤差が入り込み0.07mg/Lと表示されるということはあるということでしょうか？ ⇒その通りであると回答予定。
<p style="text-align: center;">宿題事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 取扱説明書の修正（維持審査までに）
<p style="text-align: center;">スケジュール</p>	<p>2020年2月25日（火） 第五回技術委員会 2020年4月16日（木） 第六回定時総会</p>

以上